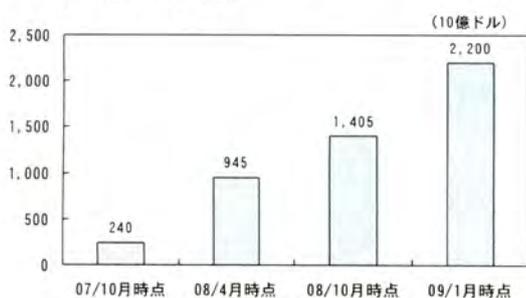


# 世界経済・金融市場の動きと道東の経済情勢

2009年4月22日  
日本銀行釧路支店

## 1. グローバルな金融システムの動揺 1. サブプライムローン問題の影響

【サブプライム関連損失】  
〔IMFの推計〕



〔損失のGDP比〕

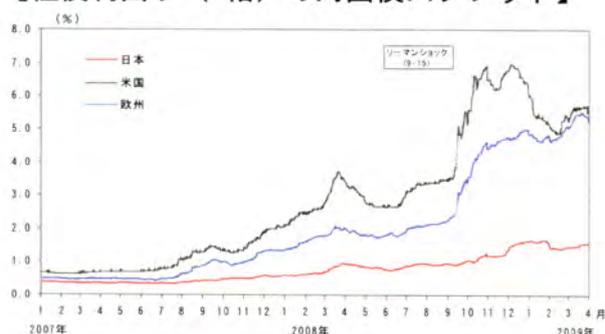
	期間	損失額	GDP対比
日本	1992年～2001年	90兆円	17%
米国	2007年～現在	2兆2000億ドル	16%

〔07～10年の損失見通し〕

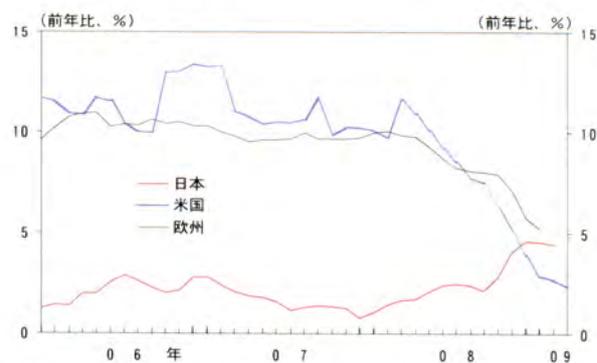
(09/4月のIMF推計、10億ドル)

	米国	欧州	日本	計
ローン	1,068	888	131	2,087
証券化商品	1,644	305	17	1,966
計	2,712	1,193	149	4,054

【社債利回り（A格）の対国債スプレッド】

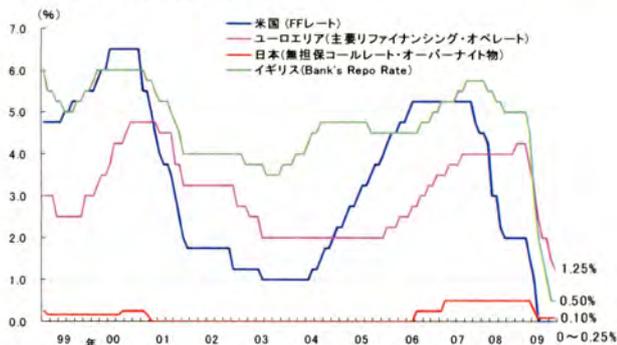


【各国の銀行貸出】

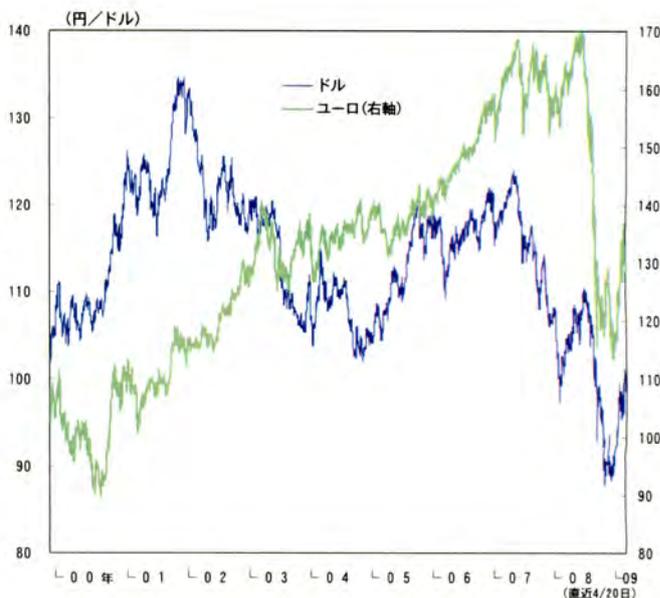


## 2. 政策金利・為替市場等の動向

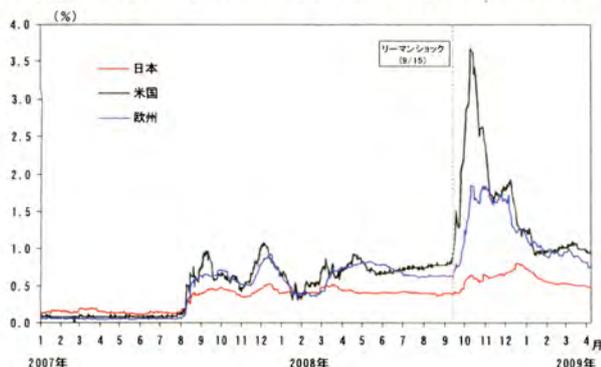
【日米欧英の政策金利】



【円/ドル・円/ユーロ】

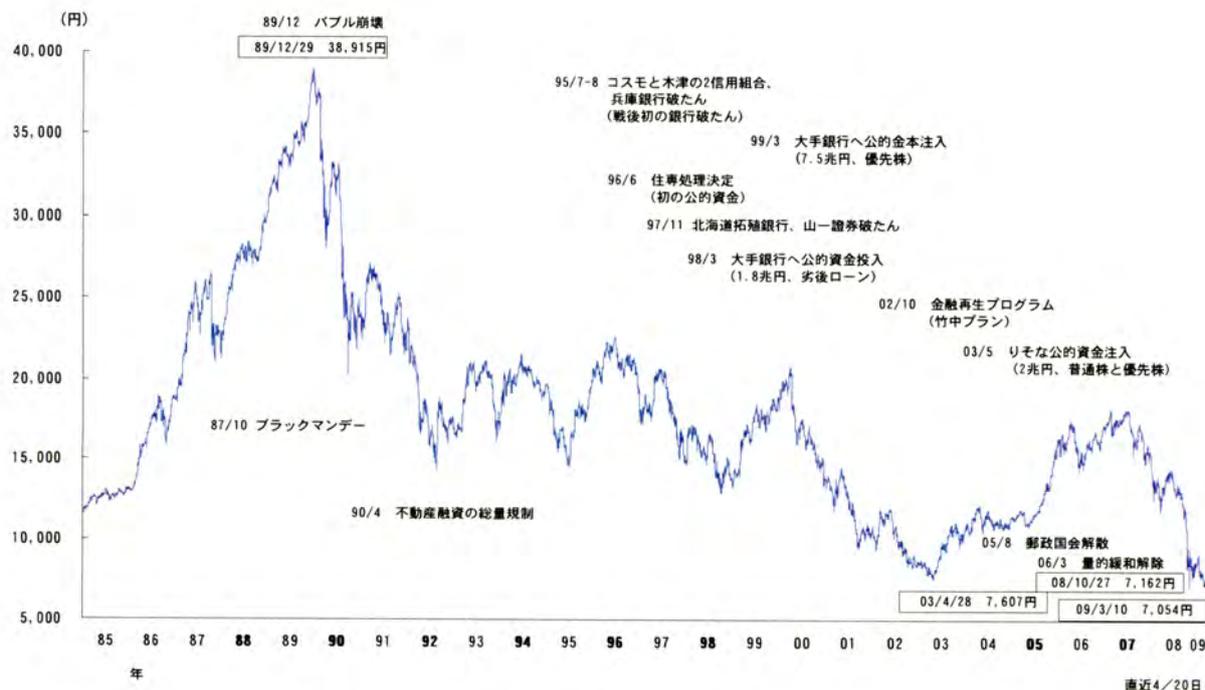


【銀行間取引レート(3か月物LIBOR)の対OISスプレッド】



(注) 日本の政策金利は、金融市場調節の操作目標が日銀当座預金残高であった期間は0%とした。  
 (資料) 日本銀行、各国中央銀行、Bloomberg

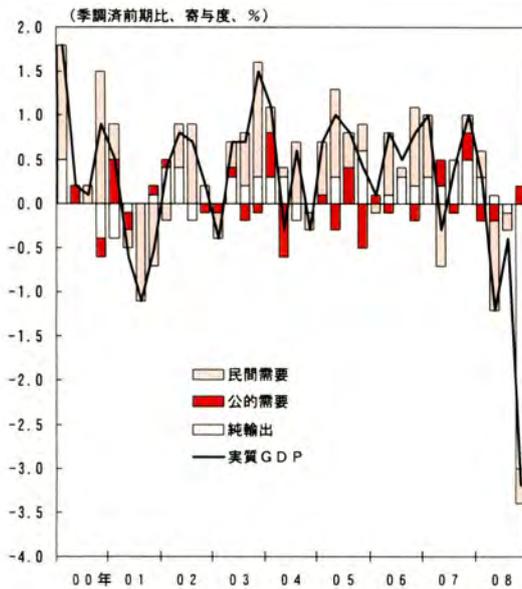
## 3. 日経平均株価の推移



## II. 日本経済の動向

### 1. 実質GDP

#### 【実質GDP】



#### 【需要項目別の動向】

(季調済前期比、内訳は寄与度、%)

	2007年	2008年				
	10~12月	1~3	4~6	7~9	10~12	
実質GDP	1.0	0.3	▲1.2	▲0.4	▲3.2	
国内需要	0.5	0.0	▲1.2	▲0.2	▲0.1	
民間需要	0.2	0.3	▲1.0	▲0.2	▲0.4	
民間最終消費支出	0.2	0.4	▲0.4	0.2	▲0.2	
民間企業設備	0.3	▲0.1	▲0.4	▲0.5	▲0.8	
民間住宅	▲0.3	0.1	▲0.1	0.1	0.2	
民間在庫品増加	0.0	▲0.2	▲0.2	0.0	0.5	
公的需要	0.3	▲0.2	▲0.2	0.0	0.2	
公的固定資本形成	▲0.0	▲0.2	▲0.0	0.0	0.0	
純輸出	0.5	0.3	0.1	▲0.1	▲3.0	
輸出	0.5	0.5	▲0.4	0.1	▲2.6	
輸入	▲0.1	▲0.2	0.5	▲0.3	▲0.5	
名目GDP	0.4	0.0	▲1.4	▲0.7	▲1.6	

#### 【各国との対比】

(10-12月・年率換算%)

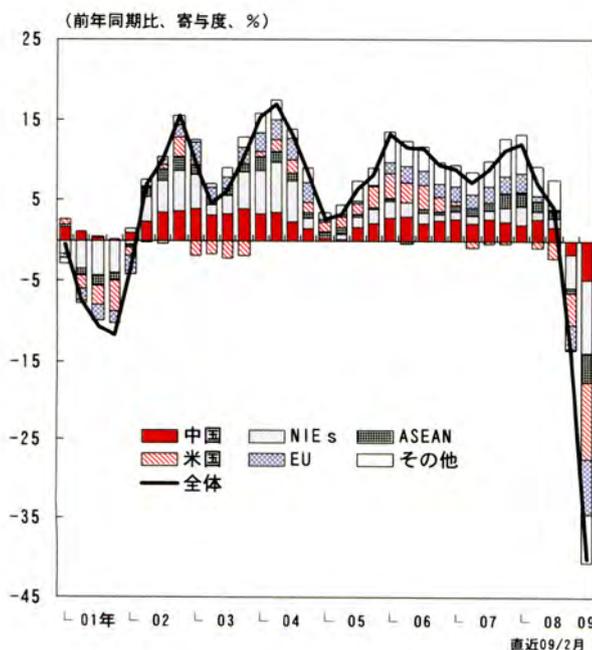
米国	▲6.2
EU	▲5.8
英国	▲6.0
ドイツ	▲8.2
日本	▲12.1
アジア	▲10.4
計	▲5.6

(資料) 内閣府「国民経済計算」

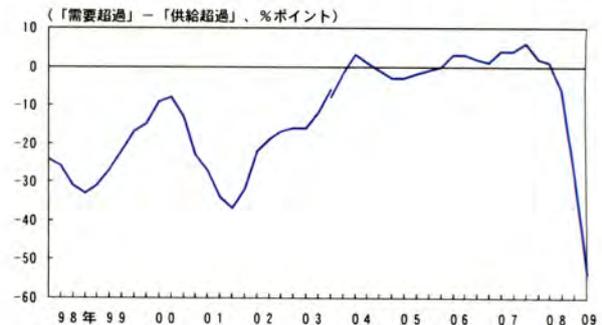
4

### 2. 輸出

#### 【地域別動向】



#### 【海外での製商品需給判断D.I.(製造業・大企業)】



#### 【業況判断D.I.(大企業)】

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

	08/6月	9月	12月	09/3月	変化幅
製造業	5	▲3	▲24	▲58	▲34
うち自動車	15	5	▲41	▲92	▲51
電気機械	3	▲9	▲37	▲69	▲32
一般機械	22	2	▲22	▲64	▲42
精密機械	16	0	▲14	▲50	▲36

(資料) 財務省「外国貿易概況」、日本銀行「企業物価指数」、「全国企業短期経済観測調査結果」

5

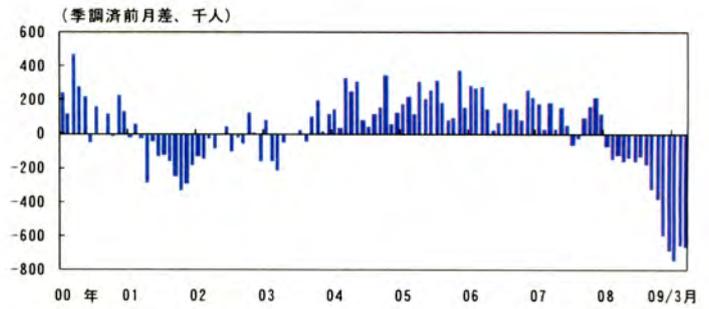
### 3. 米国経済

#### 【実質GDP】

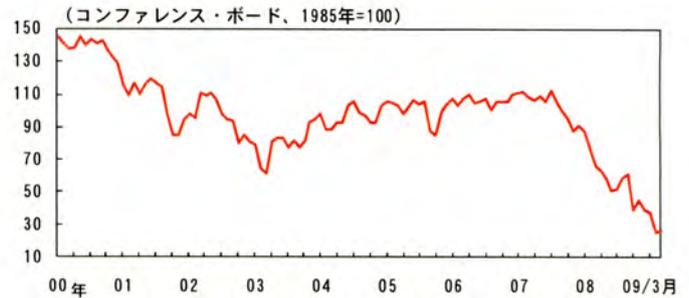
(前期比・年率、内訳は同番与度、%)

	07年				08年					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
実質GDP	2.0	0.1	4.8	4.8▲0.2	1.1	0.9	2.8▲0.5	▲6.3		
個人消費	2.0	2.7	1.4	1.4	0.7	0.2	0.6	0.9▲2.8	▲3.0	
住宅投資	▲1.0	▲0.9	▲0.6	▲1.1	▲1.3	▲0.9	▲1.1	▲0.5	▲0.6	▲0.8
設備投資	0.5	0.3	1.1	0.9	0.4	0.2	0.3	0.3	▲0.2	▲2.6
在庫投資	▲0.4	▲1.1	0.5	0.7	▲1.0	▲0.3	▲0.0	▲1.5	0.8	▲0.1
純輸出	0.6	▲1.2	1.7	2.0	0.9	1.4	0.8	2.9	1.1	▲0.2
輸出	1.0	0.1	1.0	2.5	0.5	0.8	0.6	1.5	0.4	▲3.4
輸入	▲0.4	▲1.3	0.7	▲0.5	0.4	0.6	0.1	1.4	0.7	3.3
政府支出	0.4	0.2	0.8	0.8	0.2	0.6	0.4	0.8	1.1	0.3

#### 【雇用者数（非農業部門）】



#### 【消費者コンフィデンス指数】

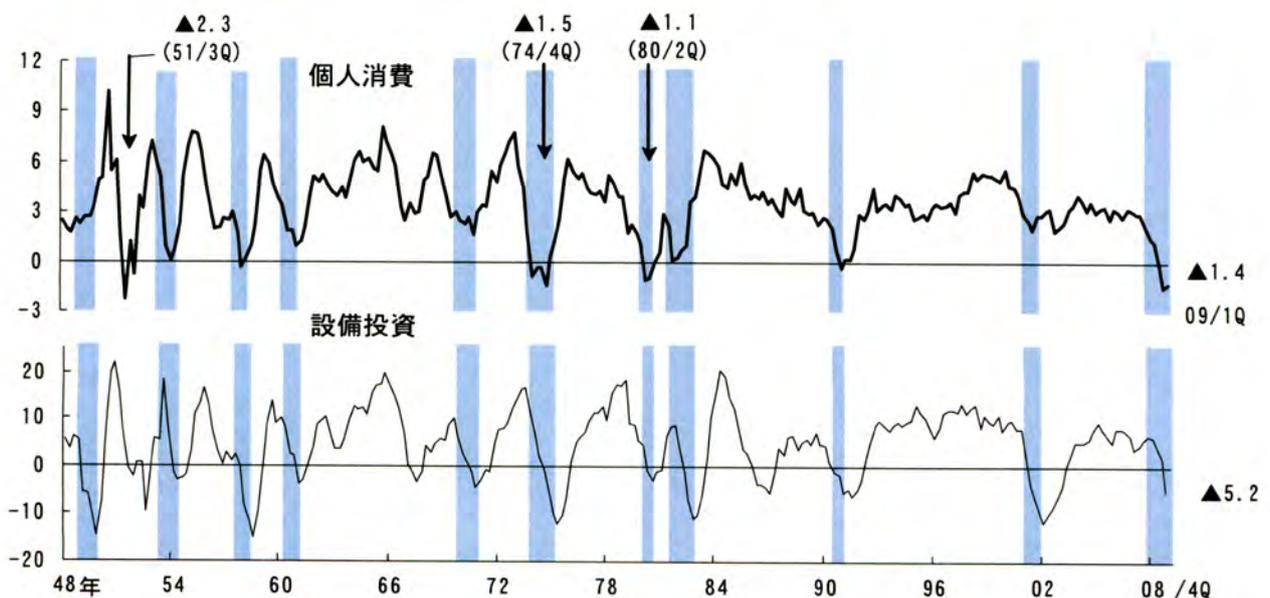


(注) 消費者コンフィデンス指数は、現在の景況感および雇用、将来の景況感、雇用および所得に対するアンケート調査をもとに作成されている。

(資料) 米商務省、The Conference Board Inc.

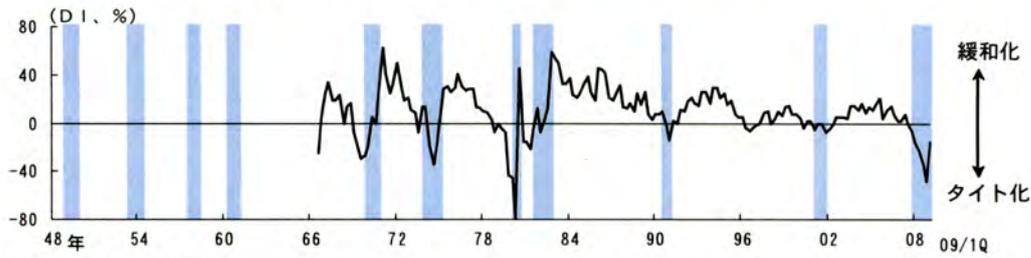
### 4. 歴史的にみた米国の景気後退局面①

#### 【実質個人消費と実質設備投資】

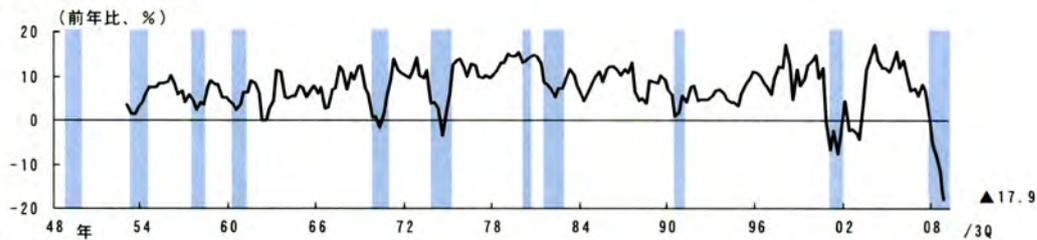


## 5. 歴史的にみた米国の景気後退局面－②

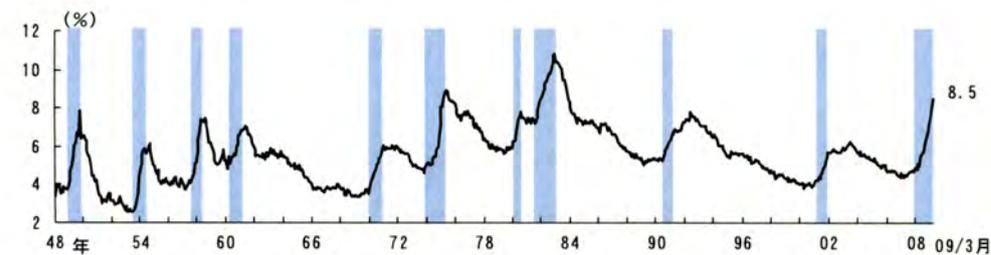
### 【金融機関の消費者向け貸出態度】



### 【家計の純資産】



### 【失業率】



8

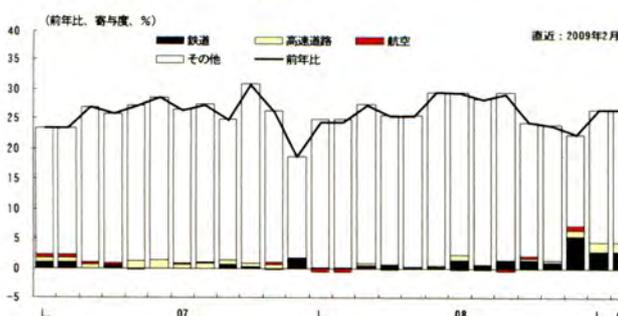
## 6. 各国の景気刺激策

(億ドル、()内は07年名目GDP比)

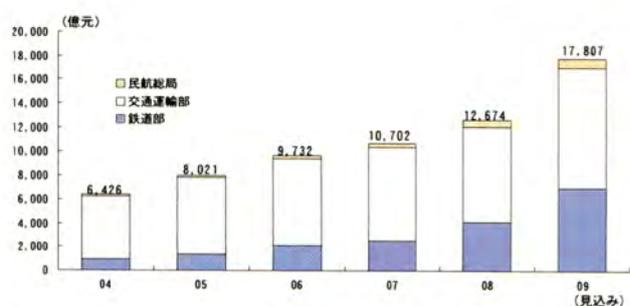
先進国		アジア		その他	
米国	7,872 (5.7%)	中国	5,860 (17.9%)	豪州	369 (4.1%)
英国	408 (1.5%)	インド	269 (2.4%)	ブラジル	36 (0.3%)
ドイツ	1,400 (4.2%)	韓国	508 (5.2%)	アルゼンチン	38 (1.4%)
フランス	363 (1.4%)	台湾	200 (5.2%)	チリ	60 (3.7%)
スペイン	1,537 (10.7%)	香港	14 (0.7%)	メキシコ	91 (0.9%)
イタリア	1,118 (5.3%)	タイ	86 (3.5%)	ポーランド	106 (2.5%)
		インドネシア	65 (1.5%)	ロシア	421 (3.3%)
		マレーシア	20 (1.1%)		
		フィリピン	70 (4.8%)		
		シンガポール	143 (8.9%)		

### 【中国の4兆元景気刺激策の効果】

#### (1) 業種別固定資産投資



#### (2) 09年鉄道・道路・空港への投資支出



(注) 1、2月は、単月の値が公表されず累計値のみ公表されるため、等速と仮定。

9

# 7. 企業収益・設備投資

## 【企業収益(経常利益)】

	(前年度比・%)				
	05年度	06年度	07年度	08年度(計画)	09年度(計画)
全産業	12.3	10.1	▲ 1.0	▲ 41.4	▲ 9.0
製造業	14.6	10.8	▲ 2.0	▲ 60.0	▲ 22.2
大企業	16.5	10.6	0.8	▲ 62.7	▲ 19.7
中堅企業	9.4	14.2	▲ 9.8	▲ 50.5	▲ 25.1
中小企業	8.4	7.9	▲ 12.3	▲ 49.8	▲ 33.6
非製造業	10.3	9.6	▲ 0.2	▲ 25.5	▲ 2.9
大企業	10.0	10.7	0.3	▲ 23.2	▲ 6.4
中堅企業	12.4	9.9	▲ 0.4	▲ 28.6	▲ 0.1
中小企業	9.7	6.5	▲ 1.6	▲ 29.6	6.1

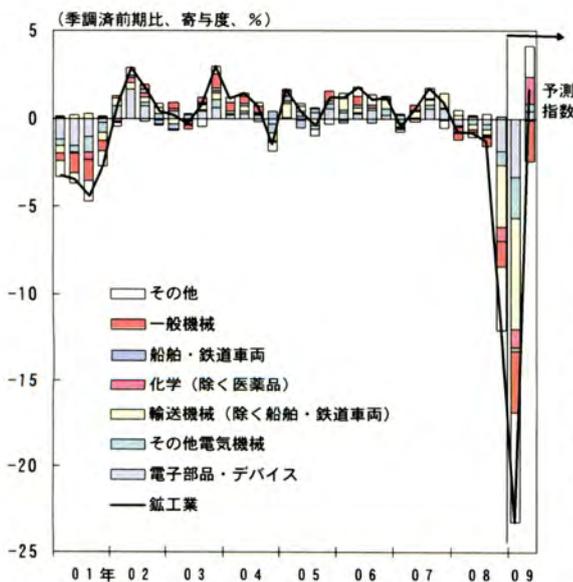
## 【設備投資】

	(前年度比・%)				
	05年度	06年度	07年度	08年度(計画)	09年度(計画)
全産業	8.9	9.4	3.6	▲ 5.4	▲ 14.3
製造業	14.0	13.4	2.9	▲ 4.3	▲ 20.0
大企業	13.9	11.7	4.6	▲ 2.4	▲ 13.2
中堅企業	21.0	9.2	1.4	▲ 9.0	▲ 32.2
中小企業	8.0	25.9	▲ 3.5	▲ 8.5	▲ 42.2
非製造業	6.5	7.2	4.0	▲ 6.0	▲ 11.2
大企業	3.8	9.1	5.0	▲ 3.8	▲ 2.7
中堅企業	10.9	6.2	▲ 1.1	▲ 6.7	▲ 26.8
中小企業	11.7	1.4	5.1	▲ 13.7	▲ 32.1

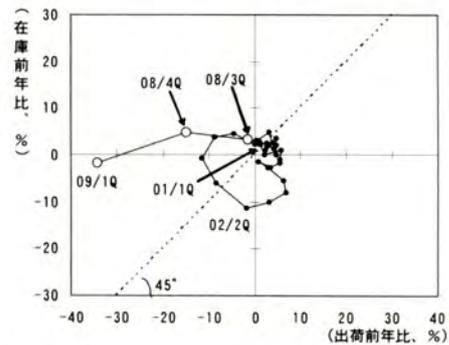
(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査結果」

# 8. 生産・在庫

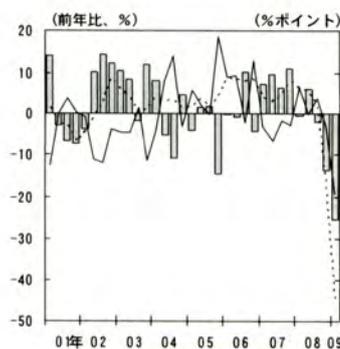
## 【生産の業種別寄与度】



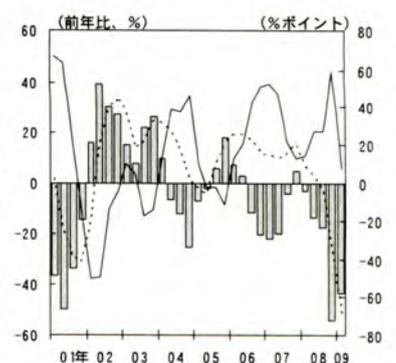
## 【在庫循環】



## 【耐久消費財】



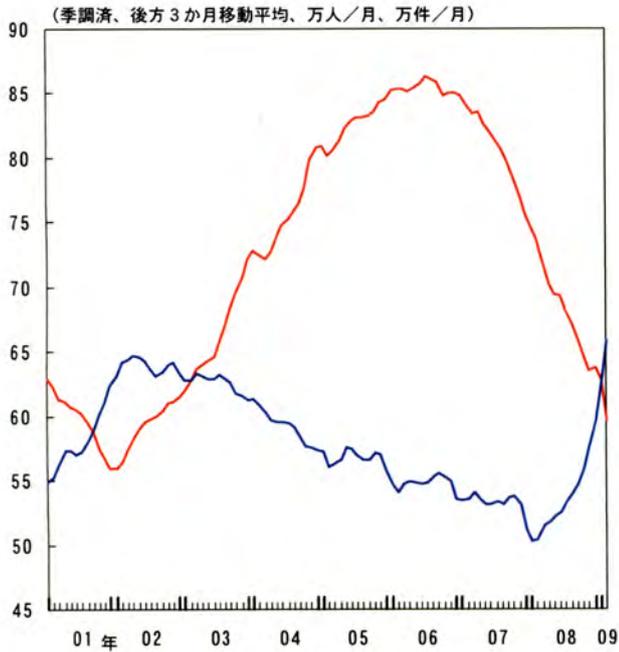
## 【電子部品・デバイス】



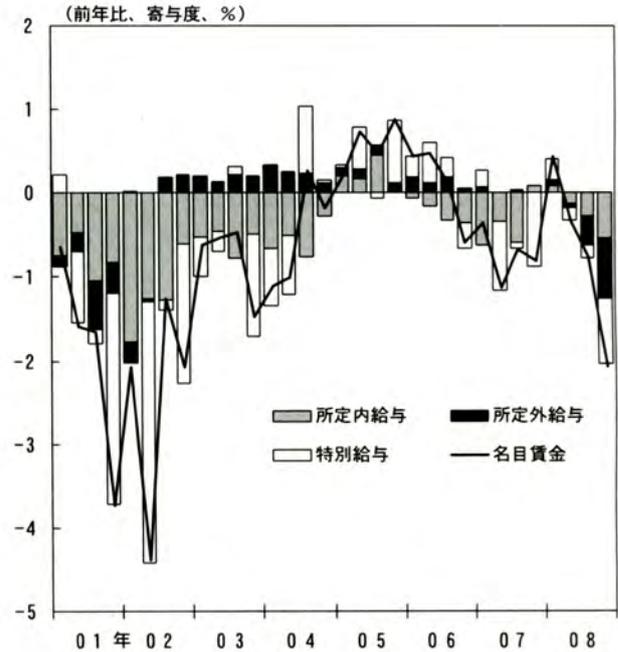
(注) 2009/1Qは、出荷は1~2月の値、在庫は2月の値を用いて算出。  
 (資料) 経済産業省「鋁工業指数統計」

# 9. 雇用・賃金

## 【新規求人と新規求職】



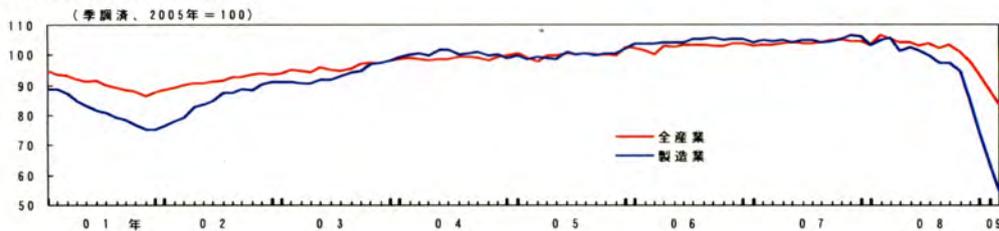
## 【名目賃金】



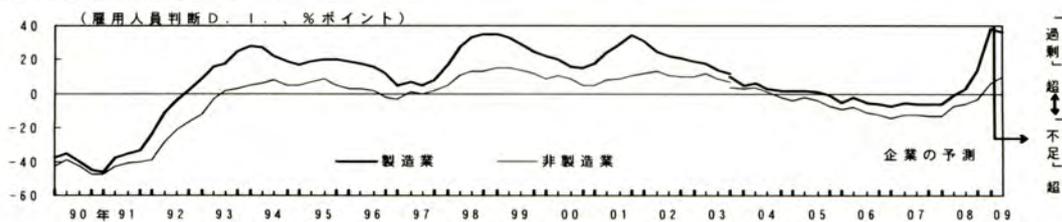
(資料) 厚生労働省「毎月勤労統計」「職業安定業務統計」

# 10. 人員過剰感の高まり

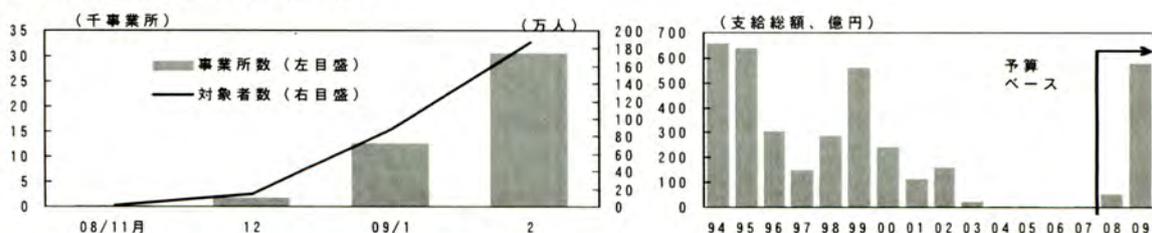
## 【所定外労働時間】



## 【雇用人員判断D.I.】



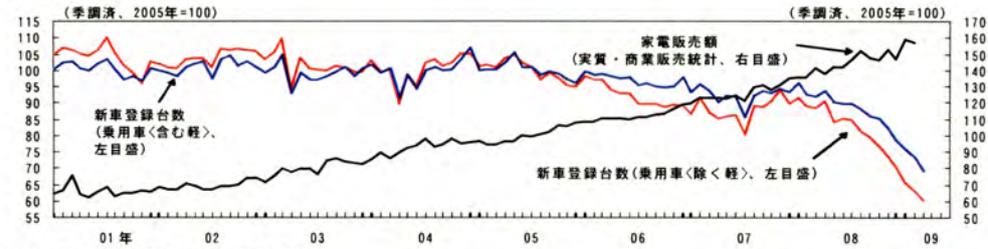
## 【雇用調整助成金の利用状況】



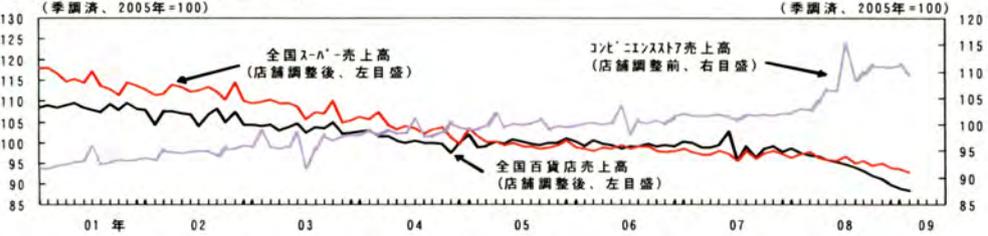
(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」、厚生労働省「毎月勤労統計」、厚生労働省「雇用調整助成金等に係る休業等実施計画届受理状況及び大量雇用変動届の提出状況」など

# 1.1. 個人消費

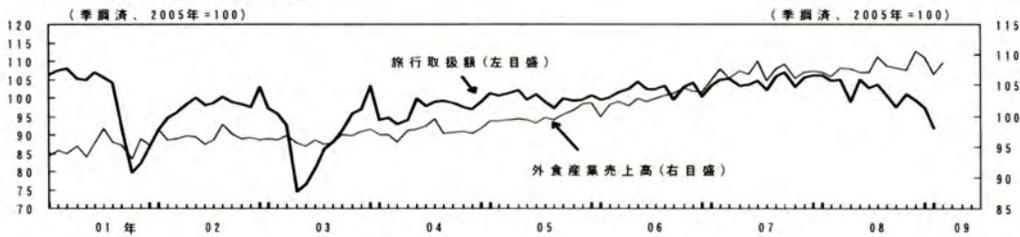
## 【耐久消費財】



## 【小売店販売（名目）】



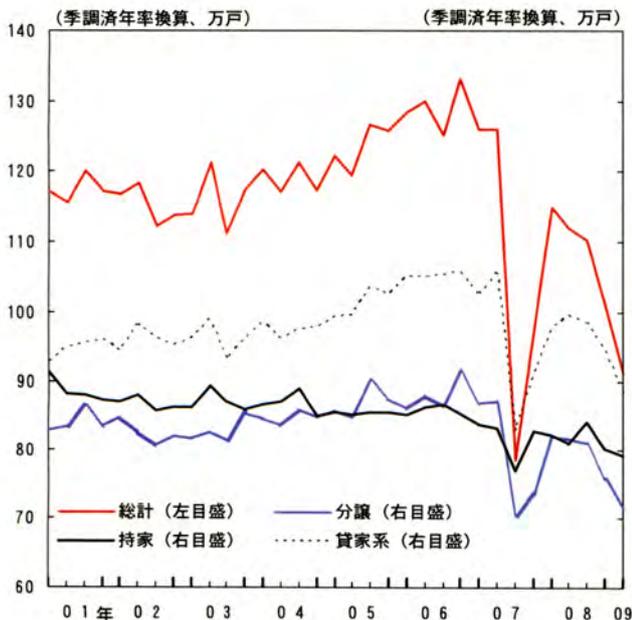
## 【サービス消費（名目）】



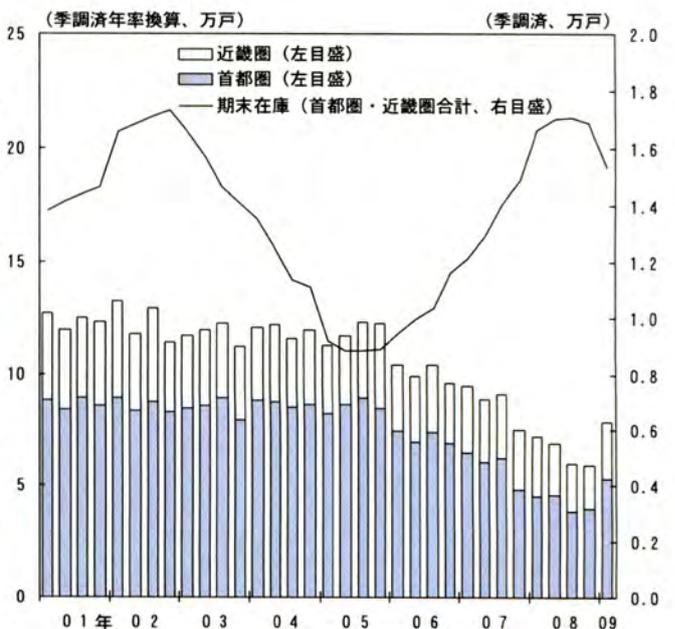
(資料) 経済産業省「商業販売統計」、観光庁「旅行取扱状況」、外食総研「月次売上動向調査」、日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」、日本自動車販売協会連合会「自動車国内販売」、全国軽自動車協会連合会「軽自動車新車販売速報」

# 1.2. 住宅投資

## 【新設住宅着工戸数】



## 【マンション販売動向】

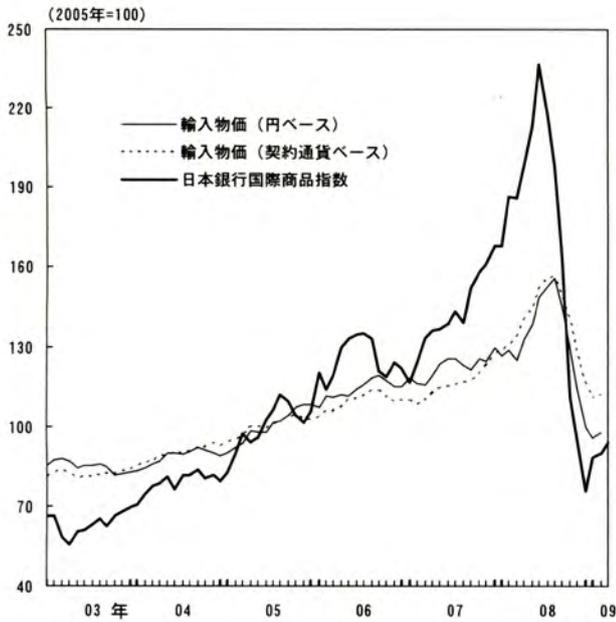


(注) 新設住宅着工戸数の2009/1Qは1~2月の値。マンション販売動向の2009/1Qの全売却戸数(契約成立戸数)は1~2月の平均値、期末在庫戸数は2月の値。

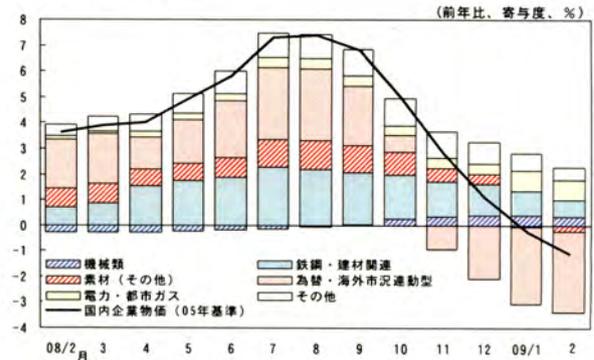
(資料) 国土交通省「建築着工統計」、不動産経済研究所「不動産経済調査月報」

# 1.3. 物価

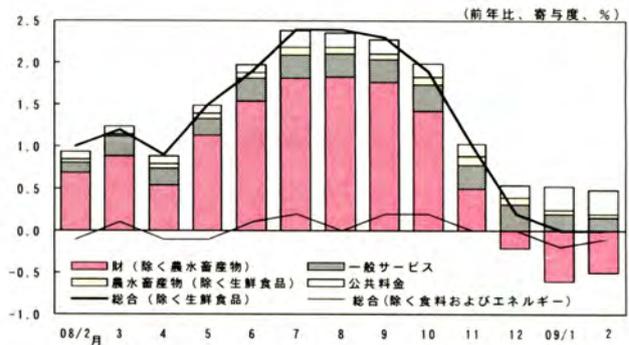
## 【輸入物価と国際商品市況】



## 【国内企業物価】 〔前年比〕



## 【消費者物価】 〔前年比〕



(資料) 日本銀行「企業物価指数」「日本銀行国際商品指数」、総務省「消費者物価指数」

# 1.4. 経済見通し

## 【日本経済】

〔日本銀行 (09/1月) 〕

	(前年度比、%)						
	07年度実績	08年度見通し	08/10月時点予想	09年度見通し	08/10月時点予想	10年度見通し	08/10月時点予想
実質GDP	1.6	▲1.8	0.1	▲2.0	0.6	1.5	1.7
国内企業物価指数	2.2	3.1	4.6	▲6.4	▲0.8	▲0.9	0.3
消費者物価指数 (除く生鮮食品)	0.3	1.2	1.6	▲1.1	0.0	▲0.4	0.3

## 【民間の経済見通し】

	(前年度比%)		
	08年度	09年度	10年度
20機関平均	▲3.0	▲4.5	0.8
最大値	▲2.6	▲2.0	2.1
最小値	▲3.4	▲7.6	▲0.6

## 【世界経済】

	(前年比%)						
	08年実績	09/1月時点	09年見通し	09/1月時点	10年見通し	09/1月時点	OECD 09年見通し
世界計	3.2	3.4	▲1.0~▲0.5	0.5	1.5~2.5	3.0	▲4.3
米国	—	1.1	▲2.6	▲1.6	0.2	1.6	▲4.0
ユーロエリア	0.9	1.0	▲3.2	▲2.0	0.1	0.2	▲4.1
日本	▲0.7	▲0.3	▲5.8	▲2.6	▲0.2	0.6	▲6.6
東アジア	—	7.8	—	5.5	—	6.9	—
中国	—	9.0	—	6.7	—	8.0	6.3
インド	—	7.3	—	5.1	—	6.5	4.3
中東	—	6.1	—	3.9	—	4.7	—
ロシア	—	6.2	—	▲0.7	—	1.3	5.6
西半球	—	4.6	—	1.1	—	3.0	—
ブラジル	—	5.8	—	1.8	—	3.5	▲0.3
アフリカ	—	5.2	—	3.4	—	4.9	—

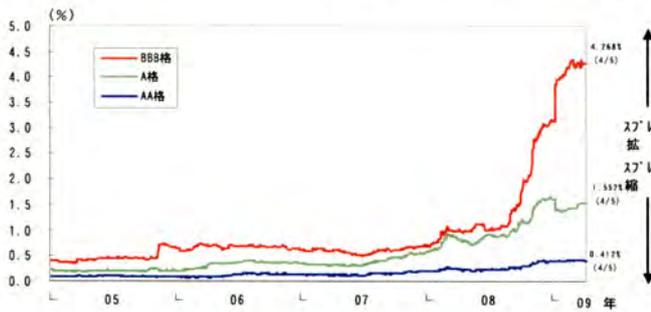
(注) 日本経済見通しの計数は、いずれも政策委員見通しの中央値。

(資料) 日本銀行「当面の金融政策運営について」、IMF「WE02009/1月、3月」、OECD「E01R2009/3月」、内閣府

# 15. 企業金融の動向

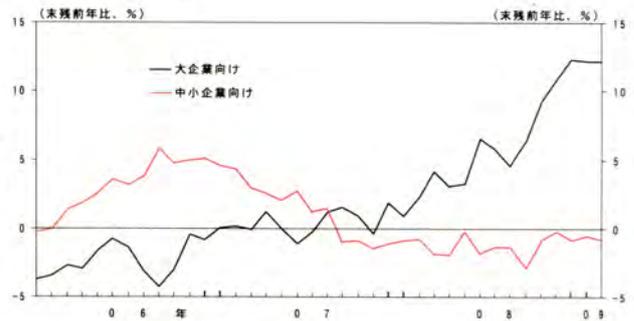
〔直接金融〕

【社債流通利回りの対国債スプレッド（残存5年）】

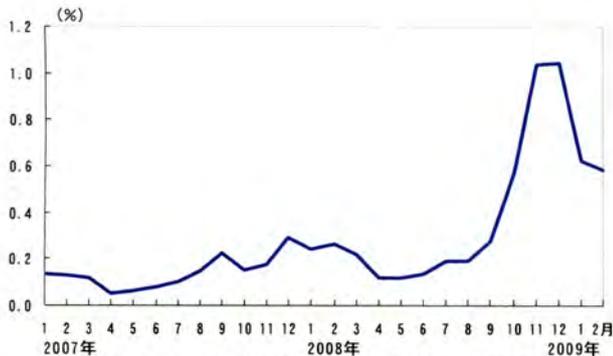


〔間接金融〕

【民間銀行貸出】



【C Pレートの対短期国債スプレッド】

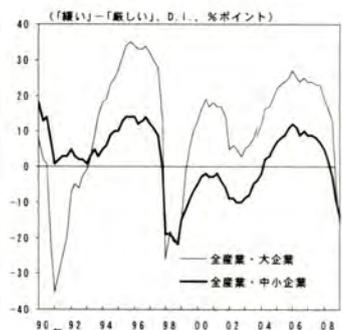


(注) C Pレートは、A-1格相当以上の新発3か月物の月次平均金利。  
 (資料) 日本銀行「企業短期経済観測調査」、「金融経済月報」等

【資金繰り判断】



【貸出態度判断】



# 16. 政策対応①

## ▽ 金融政策面の主な措置

### (1) 政策金利の引き下げ

- ✓ 0.5% ⇒ 0.3% (08年10月31日) ⇒ 0.1% (同12月19日)
- ・ 同時に、補完貸付金利を引き下げ (0.75% ⇒ 0.5% ⇒ 0.3%)

### (2) 金融市場安定化のための措置

- ✓ 米ドル資金供給オペの導入・拡充
- ✓ 補完当座預金制度の導入
- ✓ 年末・年度末越え資金の積極的な供給 (09年3月末: 44.7兆円 < 08年3月末: 37.8兆円 >)
- ✓ 長期国債買入れの増額 (年14.4兆円 ⇒ 年16.8兆円 < 08年12月19日 > ⇒ 年21.6兆円 < 09年3月18日 >)
- ・ 買入れ対象に30年債、変動利付債、物価連動債を追加
- ・ 残存期間別買入れの実施

### (3) 企業金融を支援する措置

- ✓ C P買現先オペの積極的活用 ⇒ 四半期に1回程度から週2回に
- ✓ 「企業金融支援特別オペ」の導入・拡充
- ・ 固定金利(現行0.1%)で、民間企業債務の担保の範囲内で金額に制限を設けずに、やや長めの資金を供給
  - 2月に、頻度を増加(月2回 ⇒ 週1回)し、資金供給期間を長期化(1~3ヶ月 ⇒ 3ヶ月)

## 17. 政策対応②

- ✓ 民間企業債務の適格担保範囲の拡大
  - ・ 社債と企業向け証書貸付債権の格付要件を緩和  
「A格相当以上」⇒「BBB格相当以上」
- ✓ 企業金融に係る金融商品の買入れ
  - ・ CPおよびABCPの買入れ
    - 買入対象：担保適格かつa-1格相当、既発行、残存期間3か月以内
    - 買入総額の上限：3兆円
  - ・ 社債の買入れ
    - 買入対象：担保適格かつA格相当以上、残存期間1年以内
    - 買入総額の上限：1兆円

### ▽金融システムの安定確保のための措置

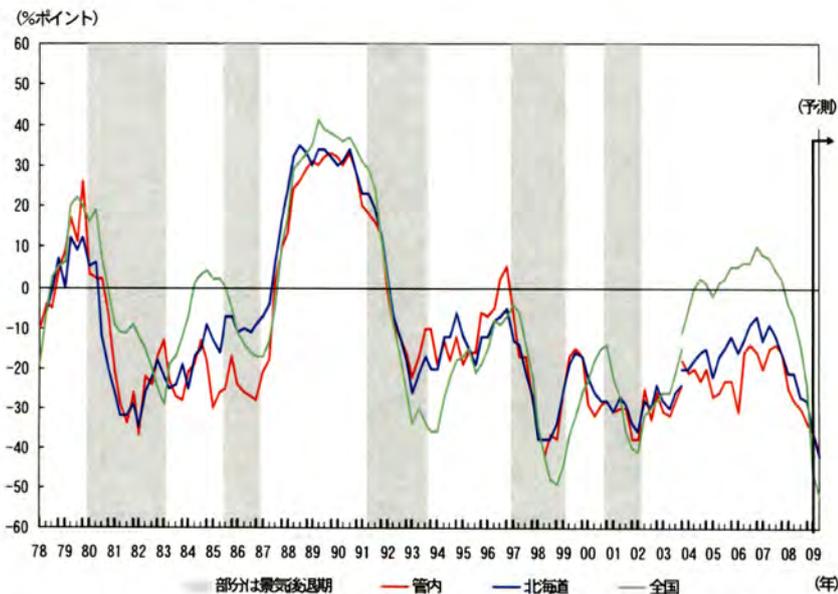
- ✓ 金融機関保有株式買入れの再開（期間：09/2月～10/4月末）
  - 買入対象：上場株式（格付BBBマイナス相当以上）
  - 買入総額の上限：1兆円（買入対象金融機関毎の上限：2,500億円）
- ✓ 金融機関向け劣後特約付貸付の供与（期間：09/5月～10/3月末）
  - 対象金融機関：自己資本比率規制上の国際統一基準行
  - 貸付総額：1兆円（貸付対象先別の貸付限度額：3,500億円）

（資料）日本銀行「当面の金融政策運営について（2009年4月）」等

20

## III. 道東の経済情勢

### 1. 業況判断D.I. - ① (全産業)



#### 【全国と管内の格差】

（「良い」-「悪い」・%ポイント）

	08/6月	9月	12月	09/3月	変化幅
全国(a)	▲7	▲14	▲24	▲46	▲22
北海道	▲21	▲27	▲28	▲36	▲8
管内(b)	▲28	▲30	▲34	▲36	▲2
(b-a)	▲21	▲16	▲10	10	—

#### 【地域別動向】

釧路	▲36	近畿	▲48
北海道	▲36	中国	▲50
九州・沖縄	▲38	東北	▲52
四国	▲41	北陸	▲54
関東甲信越	▲45	東海	▲55

#### 【管内が全国を大きく上回った時期】

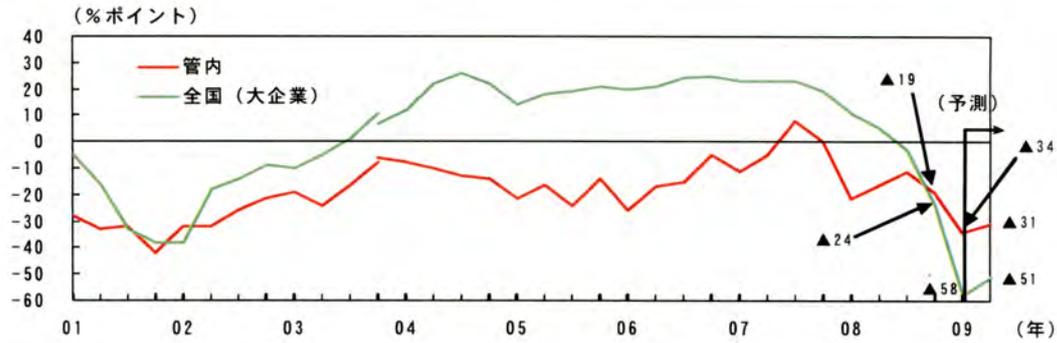
	98/9月	12月	99/3月	6月	9月	12月
全国(a)	▲48	▲49	▲44	▲37	▲32	▲26
管内(b)	▲37	▲38	▲25	▲17	▲15	▲17
(b-a)	11	11	19	20	17	9
うち建設	23	7	6	6	13	▲6

（資料）日本銀行「道東地域の企業短期経済観測調査結果」「全国企業短期経済観測調査結果」「地域経済報告」  
釧路支店短観調査対象企業数：142社（うち製造業：38社、非製造業：104社）

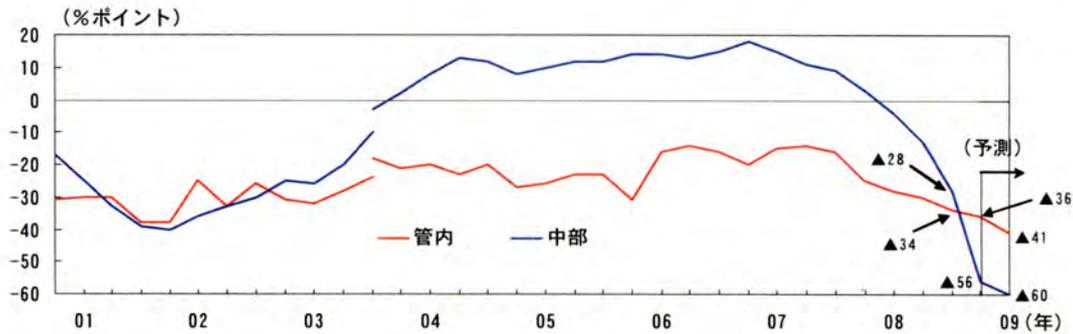
21

## 2. 業況判断D.I.-②

### 【製造業】



### 【地域別(全産業)】



(資料) 日本銀行「道東地域の企業短期経済観測調査結果」 「全国企業短期経済観測調査結果」

22

## 3. 業況判断D.I.の内訳

### 【製造品出荷額の内訳(07年)】

	(%)	
	管内	全国
輸送用機械	0.8	19.0
電気機械	2.0	6.3
一般機械	1.3	10.8
食料品	63.0	7.2
紙・パルプ	12.1	2.3
木材・木製品	4.2	0.8

### 【業種別】

	〔「良い」－「悪い」、回答社数構成比：%ポイント〕					
	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月予測
全産業	▲25	▲28	▲30	▲34	▲36	▲41
製造業	▲21	▲16	▲11	▲19	▲34	▲31
食料品	▲15	8	15	15	▲15	▲29
水産加工	0	15	0	0	▲15	▲43
木材・木製品	▲20	▲20	▲40	▲40	▲60	▲40
窯業・土石	▲40	▲60	▲80	▲80	▲100	▲80
機械	▲20	▲30	0	▲20	▲30	▲20
非製造業	▲27	▲32	▲37	▲40	▲37	▲45
建設	▲28	▲43	▲43	▲40	▲33	▲52
卸売	▲31	▲23	▲36	▲36	▲48	▲62
小売	▲22	▲19	▲28	▲33	▲47	▲47
運輸	▲10	▲40	▲50	▲50	▲30	▲20
情報通信	0	▲16	▲17	▲17	▲17	▲33
サービス	▲33	▲33	▲33	▲50	0	▲20
飲食店・宿泊	▲36	▲42	▲33	▲58	▲42	▲42
ホテル・旅館	▲40	▲45	▲36	▲64	▲36	▲36

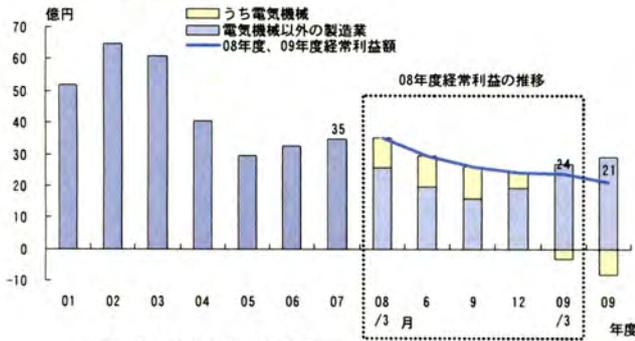
### 【製造業の収益動向】

	(百万円、%、〈〉内は増減額)					
	08年実績見込み			09年計画		
	実額	前年比	寄与度	実額	前年比	寄与度
合計	2,365	▲31.7	▲31.7	2,092	▲11.5	▲11.5
食料品	2,518	46.3	23.0	2,600	3.3	3.5
電気機械	▲294	〈▲1,366〉	▲39.4	▲847	〈▲553〉	▲23.4
木材・木製品	42	▲63.5	▲2.1	40	▲4.8	▲0.1
窯業・土石	▲123	〈▲412〉	▲11.9	39	〈+162〉	6.9

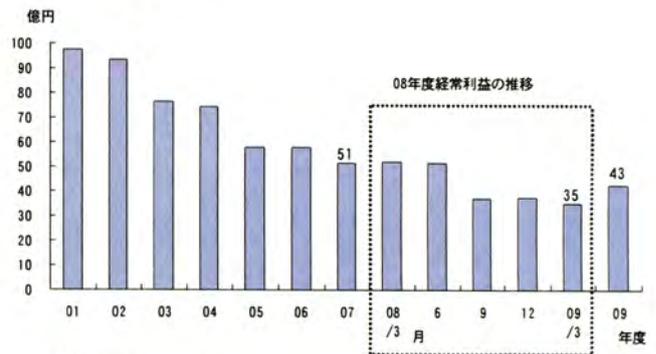
(資料) 北海道企画振興部「平成19年工業統計調査結果確報(北海道分)」、経済産業省「平成19年工業統計調査(概要版)」23  
日本銀行「道東地域の企業短期経済観測調査結果」

## 4. 経常利益の動向

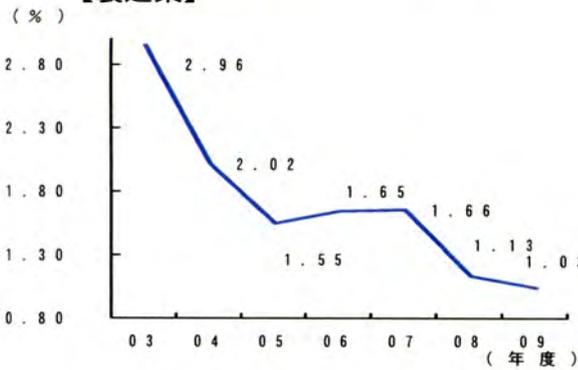
〔経常利益〕  
【製造業】



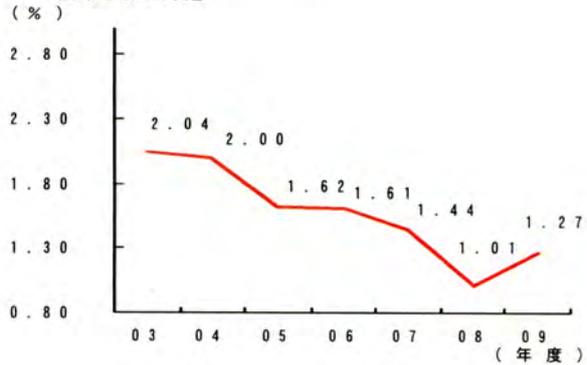
【非製造業】



〔売上高経常利益率〕  
【製造業】



【非製造業】

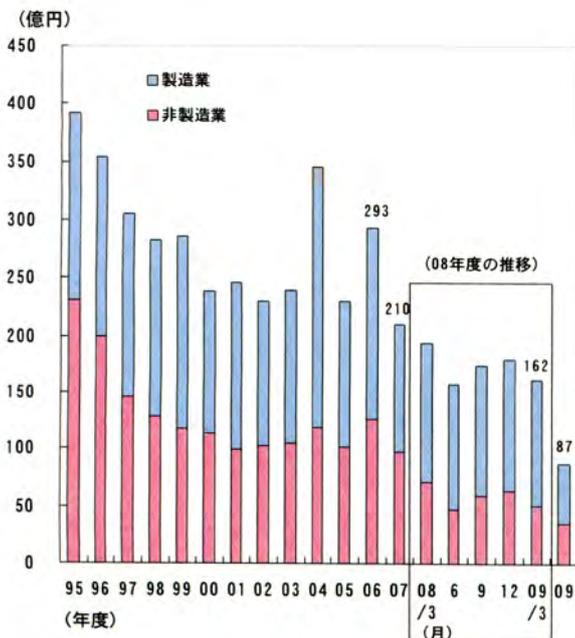


(資料) 日本銀行「道東地域の企業短期経済観測調査結果」

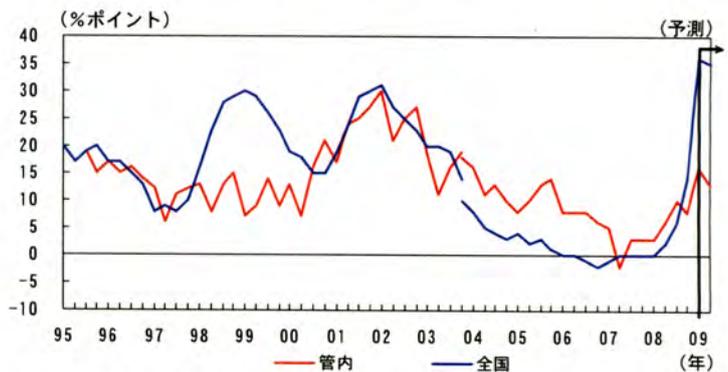
24

## 5. 雇用・設備投資の動向

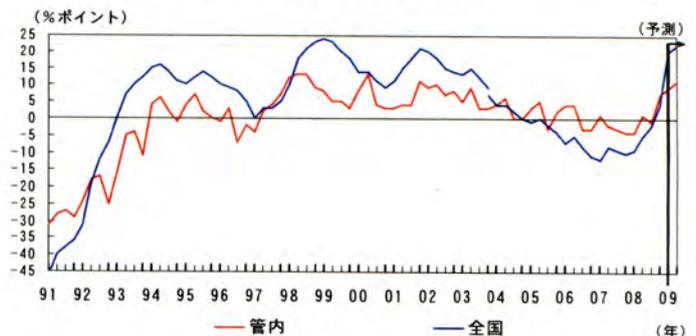
【設備投資】



【生産設備判断D. I. (製造業)】



【雇用人員判断D. I. (全産業)】



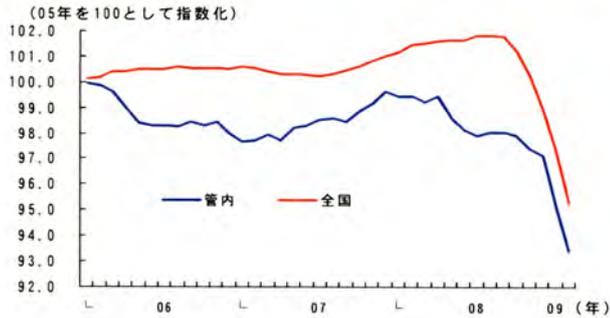
(資料) 日本銀行「道東地域の企業短期経済観測調査結果」

「全国企業短期経済観測調査結果」

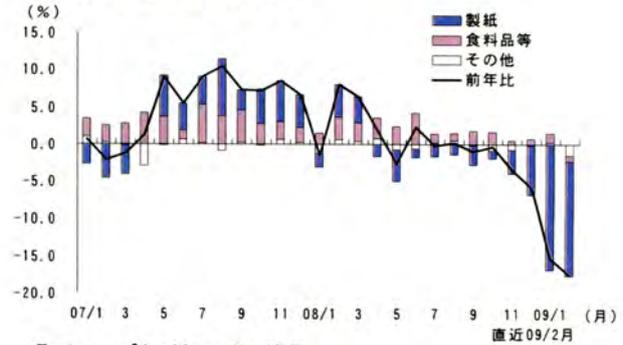
25

## 6. 製紙・木製品の動向

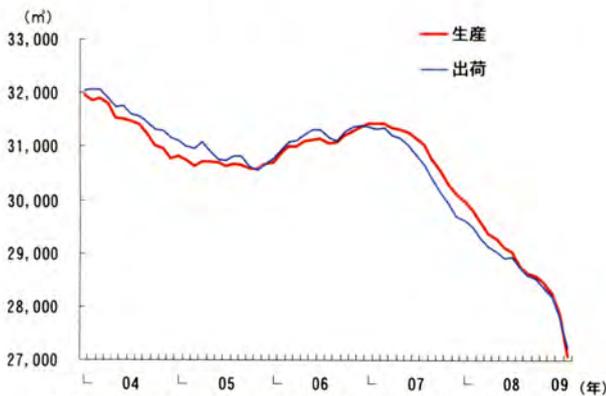
【製紙生産量】



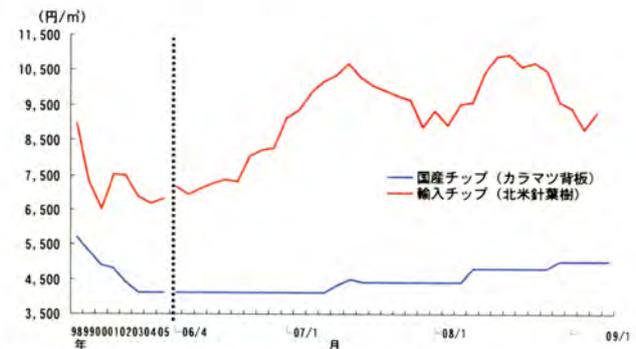
【大口電力寄与度】



【製材品生産量】



【チップ価格の推移】



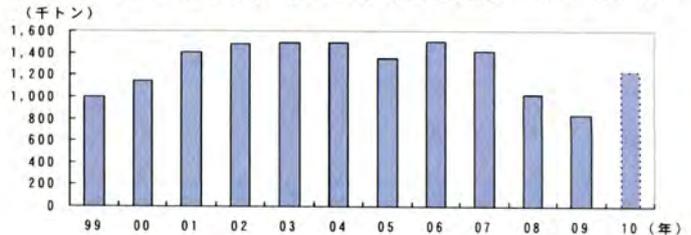
(注) 製紙生産量は後方12か月移動平均後、05年を100として指数化。製材品生産量は、後方12か月移動平均値を表示。  
 (資料) 日本製紙連合会、財務省「貿易統計」、釧路支庁、十勝支庁、根室支庁、日本銀行釧路支店

## 7. 水産加工・乳製品の動向

【水揚げ・加工生産量の推移】



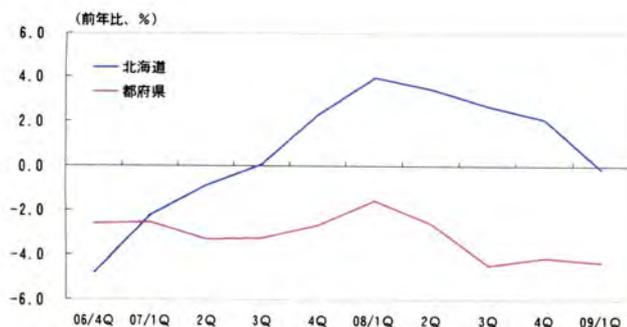
【米国スケトウダラ漁獲枠/さんまの水揚げ・価格(08年)】



	水揚げ数量 (トン)		水揚げ金額 (千円)		単価 (10kg当り)	
		前年比		前年比		前年比
北海道	119,276	▲ 3.1	11,297,558	17.5	947	21.3
本州	223,949	29.7	11,816,473	▲ 2.8	528	▲ 25.0
合計	343,225	16.0	23,114,032	6.2	673	▲ 8.6

(前年比:%)

【生乳生産量】



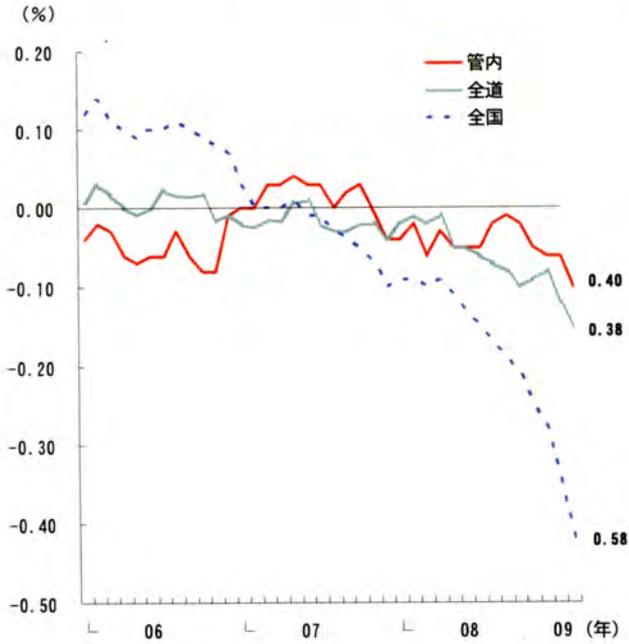
【乳製品生産】



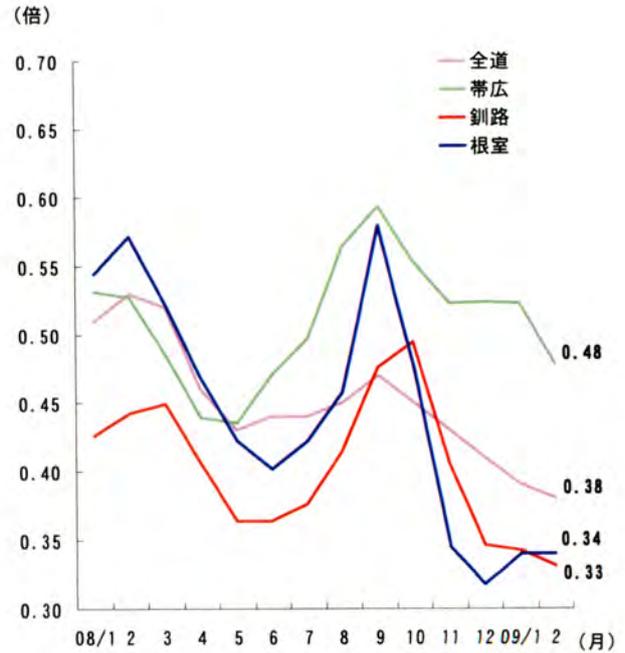
(注) 水揚げ・加工生産量は後方12か月移動平均後、97年を100として指数化。09/1Qは1~2月までの計数。  
 (資料) 農林水産省「牛乳乳製品統計」他、根室水産協会、水産庁、日本銀行釧路支店

## 8. 雇用情勢－①

【有効求人倍率(原計数)の前年差】



【有効求人倍率の推移】

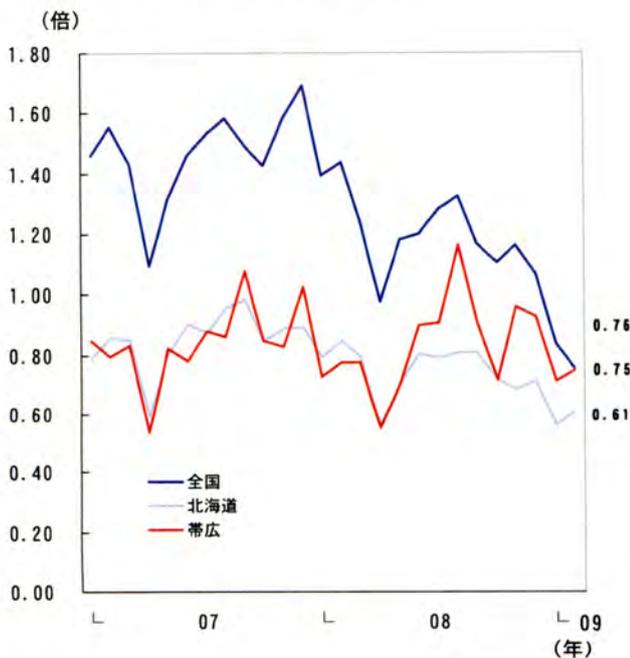


(資料) 北海道労働局、日本銀行釧路支店「管内主要金融経済指標」

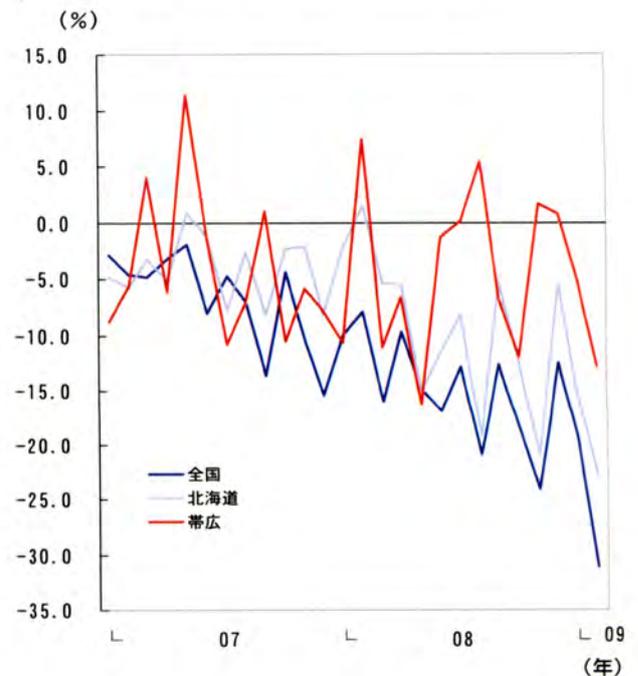
28

## 9. 雇用情勢－②

【新規求人倍率(常用)の推移】



【新規求人数(常用)の前年比推移】

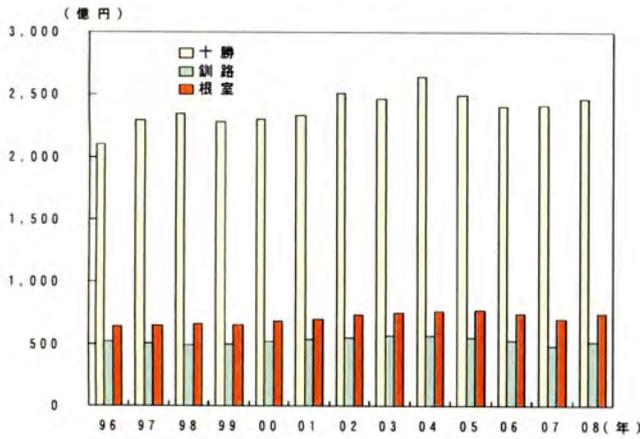


(資料) 厚生労働省、ハローワーク帯広

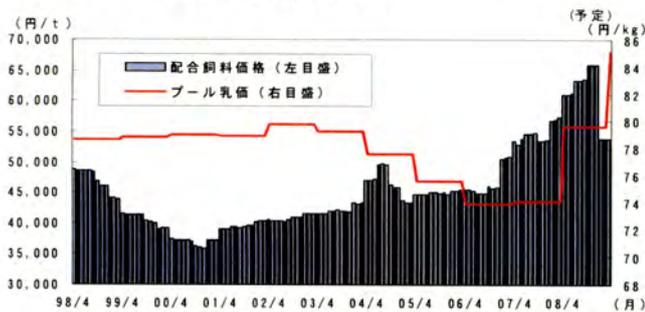
29

# 10. 農協取扱高・漁業水揚高

【農業産出額/農協取扱高(07年以降)】

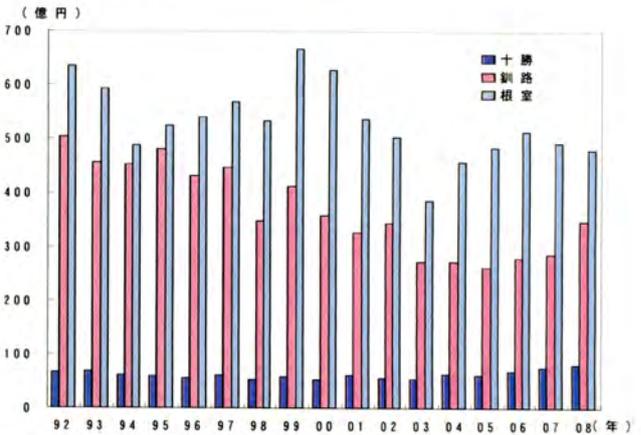


【プール乳価・飼料価格】



(資料) 釧路・根室・十勝支庁、北海道信用農業協同組合連合会他、ホクレン、日本銀行釧路支店

【漁業水揚高】



【L資金の活用動向】

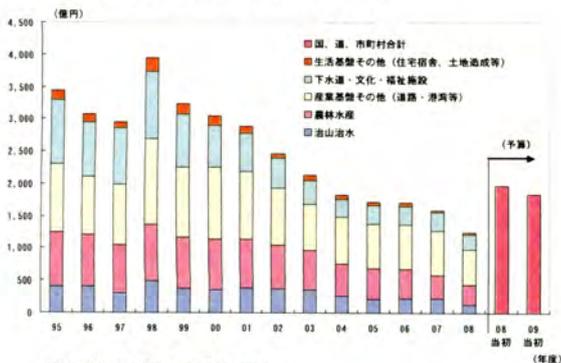
	06年度		07年度		08年度
	酪農	酪農	酪農	酪農	
十勝	50	22	81	27	無利子化2年目となるため、大幅に増える見込み。
釧路	41	39	39	35	
計	91	61	120	62	

【無利子融資枠の増枠(07~09年)】

	07年度		08年度	
全国	2,220	→	2,820	(+600)
北海道	330	→	427	(+ 97)

# 11. 公共投資等の動向

【公共工事請負金額の推移】



【農業農村整備事業費推移】

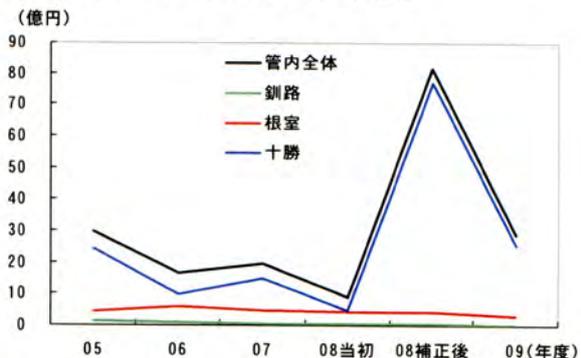
年度	(単位: 億円、%)					前年比	08当初比
	05	06	07	08	09		
管内	476	503	429	410	355	▲ 13.6	0.8
釧路	100	110	112	110	85	▲ 22.4	4.5
十勝	316	322	235	198	193	▲ 2.4	2.9
根室	60	71	83	103	76	▲ 25.9	▲ 7.9

(注) 05~08年度は補正含む予算ベース、09年度は当初予算ベース。

【管内公共事業予算】

	(単位: 億円)			
	08年度(当初)	08年度(補正)	09年度(当初)	08当初比(%)
合計	1,973	n. a.	1,843	▲ 6.6
国	975	154	951	▲ 2.5
釧路開建	483	91	457	▲ 5.3
帯広開建	493	64	493	0.2
道	493	12	441	▲ 10.5
市町村	505	n. a.	451	▲ 10.7

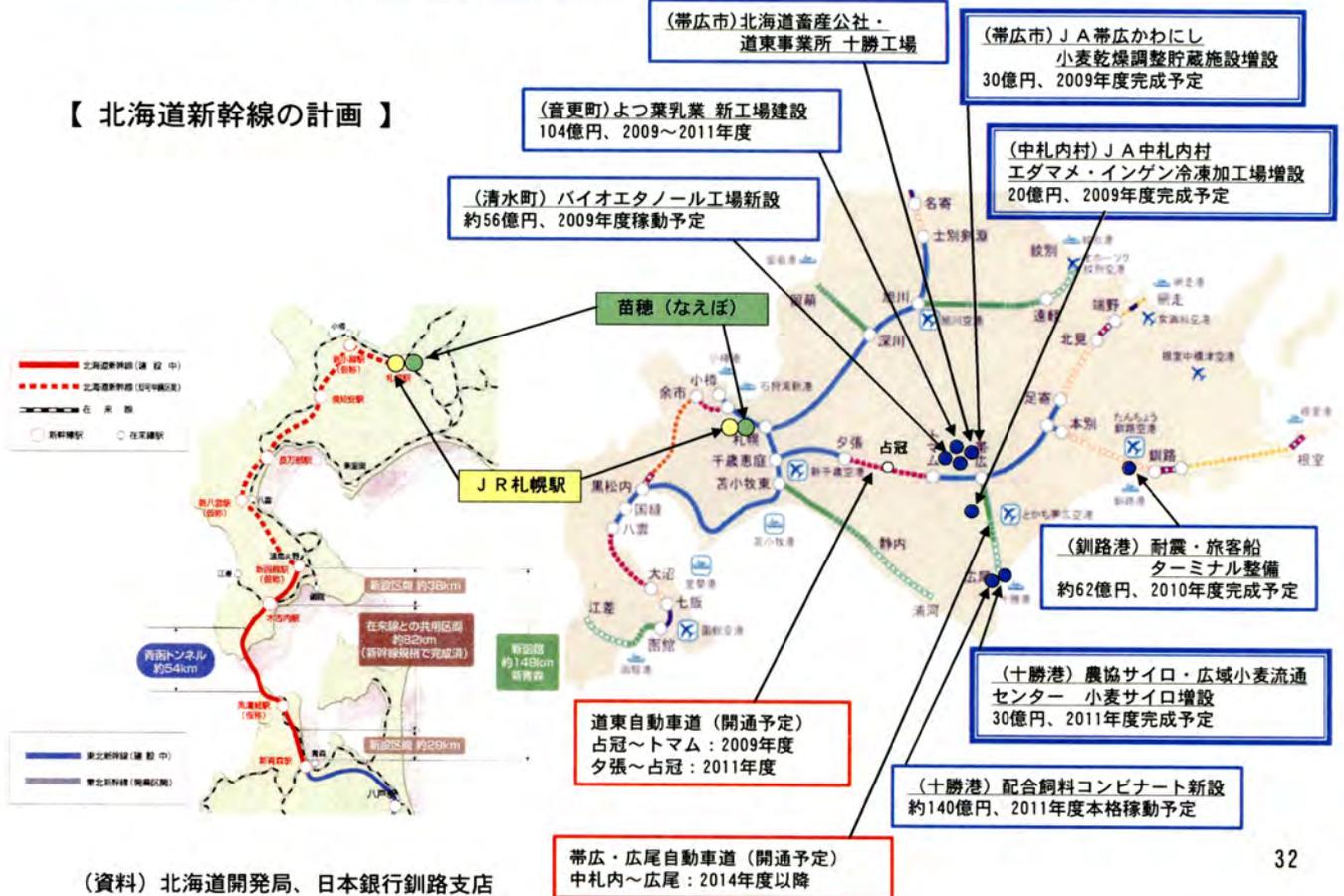
【強い農業づくり交付金の推移】



(資料) 北海道建設業信用保証、東日本建設業保証会社、西日本建設業保証会社、釧路開発建設部、帯広開発建設部、北海道農政部他

## 1.2. 管内の主要プロジェクト

### 【北海道新幹線の計画】



32

## 1.3. 管内経済活性化に向けた展望

—豊かな自然環境と食料・資源の供給基地としての優位性を活かす3つのキーワード—

### (1) 食料

- ・自給率の引上げ要請、食の安全・安心意識の高まりに対応した生産基盤の確保・市場開拓に向けた取組みを強化
- ・原料供給型のビジネスモデルからの脱却を図り、加工部門の取り込み、食材の高付加価値化を目指す

### 【食料自給率(05年度)】

	(%)
全国	40
北海道	201
秋田	164
東京	1
大阪	2
十勝	1,093 <sup>(注)</sup>

(注) 十勝で生産される主な農林水産物が、全て十勝で消費される、との前提を置いて、それによって養い得る人口を算出。当該人口を実際の十勝の人口で除して自給率を計算。

### (2) 環境

- ・酪農や畑作を通じて得られる豊富なバイオマス資源の一層の活用
  - 副産物を飼料化、酪農・畜産の飼料自給率を向上
  - バイオガスプラントの導入により発電事業へ参入
- ・CO<sub>2</sub>吸収源としての森林の更なる有効利用
  - “国内クレジット”と類似の仕組みにより間伐、植林等の費用負担を賄う

### 【生産地立地のアドバンテージ】

- ① 微妙な風味や旨味を損わない
- ② 副産物を産廃にせず有効活用が可能
- ③ 食の安全性を担保するトレーサビリティの徹底  
⇒ 十勝では、小麦の製粉工場の立地に期待

### (3) 観光

- ・一次産業を基盤とする地域の自然の美しさ・美味しい食材を体験する新しい旅の提案を積極的にアピール
  - 浜中町の霧多布湿原トラストが“エコツーリズム大賞”を受賞
  - 標津町・鶴居村が“日本で最も美しい村”連合に加盟

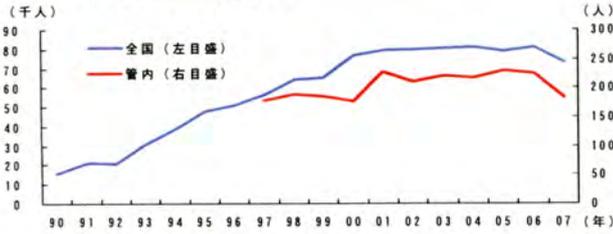
### 【産出額・付加価値額】

	農水産業 産出額 (06年)	食料品製造業出荷額(06年)		(単位:億円、%)
		付加価値額	付加価値率	
十勝	2,476	2,609	775	29.7
釧根	2,073	3,083	718	23.3
全国	101,600	226,732	85,625	37.8

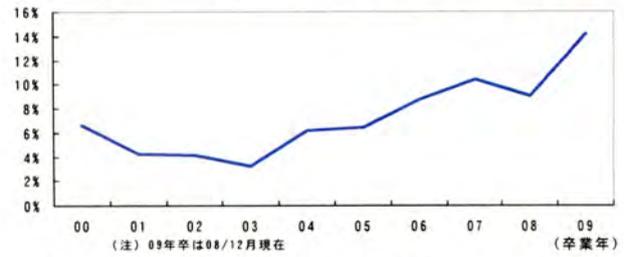
33

# 14. 一次産業・関連産業での雇用吸収の可能性

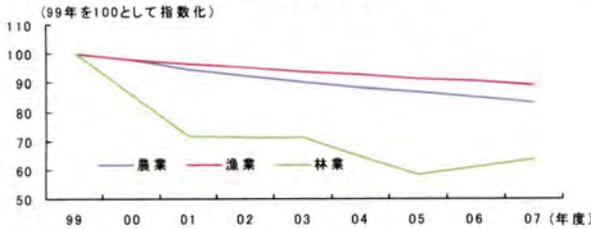
【新規就農者の推移】



【新規高卒者の道外就職率の推移(管内)】

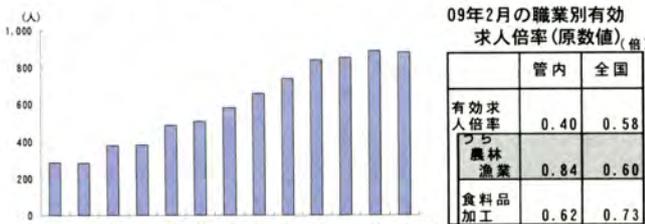


【一次産業就業者の推移(管内)】

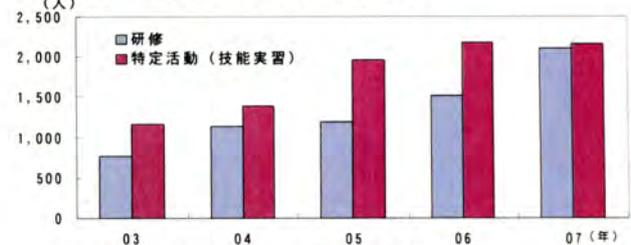


(注) 農業は農協組合員推移(年度末時点)、漁業は漁協組合員数(年度末時点)、林業は林業従事者(各年度の4~6月調査、隔年調査)

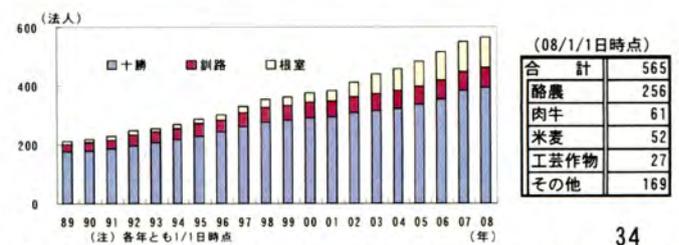
【一次産業の新規求人(管内)】



【外国人登録者の推移(道内)】



【農業生産法人の推移(管内)】



(資料) J A 北海道中央会、北海道漁業協同組合連合会、北海道水産林務部、帯広・釧路・根室ハローワーク、札幌入国管理局、北海道農政部、農林水産省等

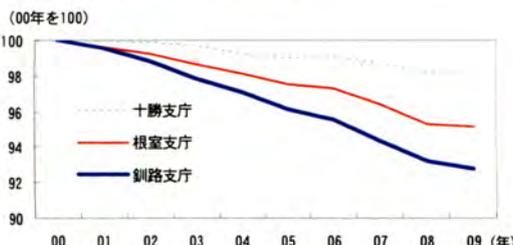
# 15. 定住人口拡充に向けた取組み

【「ちょっと暮らし」の受入実績表】

市町村名	06年度実績			07年度実績			08年4~12月実績		
	(件)	(名)	(滞在日数)	(件)	(名)	(滞在日数)	(件)	(名)	(滞在日数)
十勝 上士幌町	23	36	691	8	15	260	15	26	593
十勝 鹿追町	4	6	296	7	13	366	5	11	219
十勝 更別村				7	19	194	7	20	196
十勝 大樹町	1	5	25				4	6	145
十勝 池田町				1	2	18			
十勝 本別町							3	12	58
十勝 清水町	1	6	90	2	7	103	6	13	159
十勝 中札内村				1	2	108			
釧路 釧路市							17	31	513
釧路 弟子屈町				1	2	16	1	2	8
釧路 鶴居村	1	2	12	2	5	18	3	7	428
根室 中標津町	11	23	402	26	65	820	31	69	1,191
根室 標津町	9	17	69	5	10	75	10	19	265
管内計	50	95	1,585	60	140	1,978	102	216	3,775
北海道計	209	417	8,477	277	616	13,346	325	711	15,891

各市町村の主な取組み		
ちょっと暮らし	住宅地分譲	住宅建築助成
○	○	-
○	○	○
○	-	-
○	○	-
○	-	-
○	-	-
○	○	-
○	-	-
○	○	-
○	-	○
○	○	-
○	-	-
○	○	-

【3支庁における人口推移】



(注) 00~08年の数値は、3月末時点。09年の数値は08年12月末時点。

【管内3支庁の人口】

	2008/3月末	
	前年差	前年比
管内	697,557 ▲ 5,986	▲ 0.85
釧路	259,286 ▲ 3,079	▲ 1.17
根室	83,184 ▲ 987	▲ 1.17
十勝	355,087 ▲ 1,920	▲ 0.54

【人口減少率比較 (08/3月末)】

	前年比 (%)
釧路・根室	▲ 1.17
秋田県	▲ 1.14
高知県	▲ 1.06
青森県	▲ 1.04
長崎県	▲ 0.87
管内計	▲ 0.85

(資料) 北海道庁、北海道移住促進協議会、住民基本台帳